

Bouquet

No.95 2024.8

問題をスルーできなくなって、
どうしたらいいのかという反応が起きている

■ 特集1 ■

なぜ僕たちは、
モヤモヤする女性たちに
オロオロするのか？

武田砂鉄さん（ライター）に
インタビュー

■ 特集2 ■

令和5年度中央区
ワーク・ライフ・バランス
推進企業を認定しました

中央区男女共同参画ニュース「Bouquet
（ブーケ）」は男女平等センターや区の施設な
どで配布しています



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

5 ジェンダー平等を
実現しよう



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を
支援しています

なぜ僕たちは、モヤモヤする女性たちにオロオロするのか？

武田砂鉄さんにインタビュー

男性の無意識に漏らしたひと言、やることに、なぜ女性はモヤモヤするのか？
そして、女性からの反発を受けて、男性がオロオロしてしまうのはなぜか？
ユニークな視点から政治や社会の問題を考察するライター・武田砂鉄さんにお話を伺いました。

日常生活に見え隠れする マチズモⅡ男性優位主義

——著書『マチズモを削り取れ』を発表して3年。読者の反響や、その後の政治・社会の変化をどう見ていますか

『マチズモを削り取れ』では、朝起きて外出し、家に帰るまでの日々のルーティンの中で、わざとぶつかってくる男性がいるとか、女性が夜道を歩くことの不安など、生活に根

差したさまざまな部分を書きました。

当時「男性なのにどうしてこのような問題に迫れるのか」とよく聞かれましたが、こういった問題について男性が語ることが少なかったからでしょう。男性優位主義を改めるには男性を変えることが重要で、男性として暮らしている以上、女性よりも近くにある問題です。ジェンダーの問題を議論する時、女性に承認を求めなければならないと考えること自体がおかしな話で、そこが可視化されたのが興味深かったですね。常に「生活から考える」という目線を持ちたいと思います。

5年ほど前と比べ、書店の人文書コーナー

にはジェンダーや人権に関する本がずらりと並ぶようになり、書店の光景が変わりました。社会は変わってきたと思いますが、変わった部分と全く変わらない部分が折り重なっている状況だと思います。

この数年で象徴的なのが「女性がいる会議は時間がかかる」という発言で東京五輪・パラリンピック競技大会組織委員会会長が辞任したことです。さすがの当人も「何かいけないことを言ったのかな」くらいの気付きはあったでしょう。構造は変わっていないまでも女性のモヤモヤに男性がオロオロする姿が世間に抽出されたことは重要だと思います。



『マチズモを削り取れ』
(集英社文庫)
武田砂鉄 著
集英社 2024年
※単行本は2021年刊行



ただだ さてつ

1982年生まれ。出版社勤務を経て、2014年よりライターに。2015年『紋切型社会』でBunkamuraドゥマゴ文学賞受賞。他の著書に『日本の気配』『わかりやすさの罪』『偉い人ほどすぐ逃げる』『マチズモを削り取れ』『べつに怒ってない』『今日拾った言葉たち』『父ではありませんが』などがある。TBS ラジオ『武田砂鉄のプレ金ナイト』パーソナリティー。

女性の「モヤモヤ」、 男性の「オロオロ」を 可視化する

——背景には声を上げ始めた女性たちの存在があったからかもしれません。ジェンダーについて生活者の視点から語るこの意味をお聞かせください

さまざまな場面で女性達がモヤモヤを声に出し始めました。けれども、そのことによって彼女たちが世間から叩かれて、立ち上がることにすらし難い状況になってから社会が変わるのはおかしいことです。これまで男性がスルーしてきた問題をスルーできなくなつて、一体どうしたらよいのかという反応が、オロオロする姿となつて可視化されてきた気がします。問題は男性にあります。

僕はラジオの番組をやらせてもらっています。2019年4月に始めたときは月曜日から金曜日までパーソナリティーは全員男性で、アシスタントは女性でした。今、新しい番組を始めるとしたら「パーソナリティーが全員男性というのはどうなんですか」などと声上がるはず。テレビのお笑い番組などでも「コンプライアンスが」とか「今はこんなこと言っちゃいけないんだってさ」などと言って笑いをとろうとすることがありますが、あれもオロオロした感じが可視化され

ていると言えます。

自分で気付いて変わろうとするのは難しいことですが、「ジェンダーの問題なんて僕には関係ない」という人達の意識に浸透させていくには、外圧的なものが大事でしょうね。例えば、今、話題の朝の連続テレビ小説「虎に翼」では、女性をとりまく理不尽にモヤモヤを感じた主人公が「はて？」と首をかしげる姿を見せています。エンターテインメント作品の中に盛り込むのも一つのやり方ですね。

「関係ない」は、 もうありえない

——ジェンダーの問題に無関心な人たちを動かすには相当なエネルギーが必要ですね

エネルギーは要りますね。旬な話題は移り変わっていきます。ともすれば「いつまでそんなことを」と思われがちです。桶川ストーカー事件のような過去の出来事は重要な教訓となりますが、「実は女性が悪かったらしい」などという言説が出てくる。こういう芽を摘んでいかないと、これまで築き上げてきたものが潰されてしまうと思うのです。

SNSなどでは、自由に性差別発言をする人々がいます。「表現の自由」というキーワードは議論や社会的な問題において重要な役割を果たしますが、その言葉を言い訳のように

使う際には慎重に問うべきです。また、「両論併記」や「正義は一つじゃない」というスローガンのようなものも検証していかないといけないと感じます。放置していると、声の大きい方、たくさんいる方に引きずられてしまうことが起こり得ると思います。どちらか一方の立場だけでなく、さまざまな視点を尊重して、対等な形で議論を進めることが大切です。

細かく、まだ言う、もう一回言う

小さな声でも伝え続けることが大切だなと感じます。私たちは生活の中でどんなことができるでしょうか

さまざまな社会問題がある中で、例えば高齢化に伴う持続可能な社会保障制度などの問題が優先され、ジェンダーの問題は大事だがそれどころではないと優先順位を下げられる可能性があるわけです。ジェンダーの問題は消えやすく忘れられやすい、力では負けてしまう問題で、指摘し続けないと元の状態に戻りがちです。簡単な解決策や特効薬がないからこそ、一つ一つの事象に対して細かく、まだ言う、もう一回言う、という姿勢が大切だと思います。「あの人はこういうキャラクターだから仕方がない」と放置した

り、諦めたりするのではなく、「おかしいですよ」と指摘し続けることで、社会は徐々に前進するのではないのでしょうか。ジェンダーの問題を自分事として考えていくには、日常生活でしつこく言うていくことや、いろいろな手段を考えていくことが必要だと思います。

「男性の生きづらさ」という言葉もよく耳にしますが、言葉がひとり歩きをして「こちらの方が生きづらい」などと主張し合い、生きづらさバトルになっている風潮もあるように思います。どうすれば男性も女性も生きやすくなるかと考える方が建設的です。

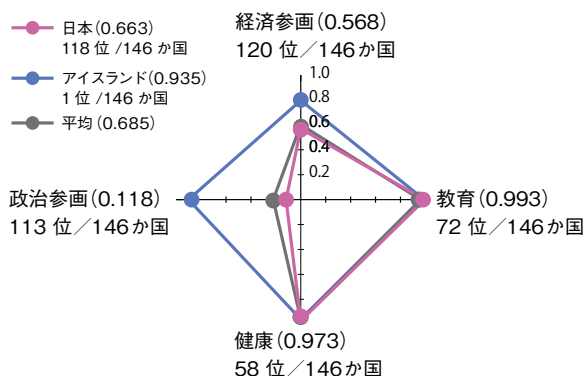
日本の社会には変化に対する抵抗感が根強く、多くの人が同じ考えを持つことに安心感を覚える傾向があります。日本の社会で異なる意見を述べるのが難しいと感じるのは、同調圧力など幼少期からの社会的な影響があるのかもしれない。フランクな気持ちで異なる意見を言える社会を築くことは、ジェンダー問題だけでなく、どのような課題に対しても風穴を開ける可能性があります。例えば「あなたは犬派？猫派？」という問いに対して、「どちらでもない」と答えることが議論を深めるきっかけになるかもしれません。僕たちが一つ一つ目の前にとにツツコミを入れていくことで、より豊かな社会を築いていくのではないのでしょうか。

ジェンダー・ギャップ指数 (GGI) に見る、日本の現状

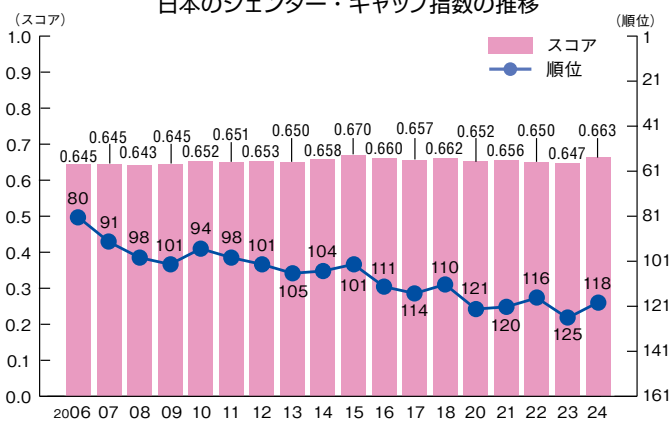
ジェンダー・ギャップ指数 (GGI) は、男女の格差を測る指数で、0が完全不平等、1が完全平等を表しています。

4つの対象分野のうち、特に政治参画、経済参画のスコアが低い状況にあります。2024年の順位は146か国中118位で、2023年の146か国中125位から上昇したものの、主要7か国 (G7) では最下位となっています。

ジェンダーギャップ指数 2024



日本のジェンダー・ギャップ指数の推移



(備考) 2019年公表分は2020年として公表されたため、数字が継続していない。

資料：各年の世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書」より作成

報告 第22回「中央区ブーケ祭り」を開催しました

中央区では「男女共同参画週間」にあわせて「職場で、地域で、家庭で働く人々たちへの応援歌」を合言葉に毎年「中央区ブーケ祭り」を開催しています。第22回は「希望の花を咲かせよう！」をテーマに6月21日(金)と22日(土)の2日間開催しました。男女平等センター「ブーケ21」で4団体が展示、パフォーマンスを発表した他、実行委員会企画による、女性だけのトロンボーンカルテット・ティンツのコンサートが行われました。

パフォーマンス

太極拳、映像による活動紹介、朗読、楽器演奏、ダンス、歌唱など、思い思いの形式で発表しました



展示

日頃の活動成果の展示に加え、エコバッグの製作、相談など、来場者参加型のプログラムも行いました



初日は雨、2日目は好天に恵まれて、この1年の活動成果を発表しました

ブーケ祭り 実行委員会企画



女性だけのカルテットによるトロンボーンの演奏と、サプライズで登場したソプラノの澄んだ歌声が響きました

令和6年8月以降に開催される講座などのご案内

* 申し込み方法など詳しくは広報紙「区のおしらせちゅうおう」または区のホームページをご覧ください。

申し込み・問い合わせ先

男女平等センター「ブーケ21」
(中央区湊一丁目1番1号)

電話番号 **03-5543-0651**

FAX 番号 **03-5543-0652**

中央区ホームページ 電子申請 検索



日 日時 講 講師 内 内容 対 対象など
定 定員 料 料金 託 託児(申し込み締切日、定員あり) 掲 「区のおしらせ ちゅうおう」掲載号



第1回の水曜イブニングトーク(7月3日)の様子

女子学生の未来応援企画 vol.2

先輩女性に聞く

わたしが知りたい理系進路のリアル (オンラインセミナー)

日 8月24日(土) 午前10時～正午

講 矢部純代さん(株式会社エンパブリック)ほか

内 理工系分野の女子大学生や働く女性など、少し先を行く先輩のリアルな話が聞けるオンラインイベントです。理系の進路を考えている女子中高生・大学生の疑問にも答えます。パソコンまたはスマートフォンからご参加ください。

対 理系の進路に関心がある女子中高生と保護者・大学生 定 30人(先着順) 料 無料

掲 7月11日号

ほっと一息 わたしの時間

「秋のアロマケアでからだをいたわる」

日 9月18日(水) 午前10時～11時30分

講 桑本友紀さん(IFA認定アロマセラピスト)

内 四季折々の暮らしにアロマを取り入れてみませんか。夏から秋へ、季節の変わり目にアロマで身体をいたわる方法を学びます。

対 区内在住の保育園や幼稚園に入園していない子どもをもつ保護者

定 12人(先着順) 料 無料 託 あり

掲 9月1日号

水曜イブニングトーク

令和6年度のテーマ

銀座スイーツ物語—伝統と革新—(全4回)

銀座の菓子店・スイーツショップを営む方々をお招きし、伝統を重んじながら今の時代に合った方法でビジネスチャンスを広げる革新的な取り組みについてお話いただきます。

第3回 伝統を大切にしながら時代を先取りした新たな価値の創造に挑む

日 9月4日(水) 午後6時30分～8時

講 宮澤雅之さん(株式会社資生堂/パーラー 代表取締役社長)

対 どなたでも 定 30人(先着順) 料 無料

掲 8月1日号

男女共同参画リーダー研修

日 バス研修 10月16日(水) 午前8時20分～午後5時15分

事後研修 10月23日(水) 午後6時30分～男女平等センターにて

内 横浜市内の男女共同参画センター3館をバスで巡ります。

対 区内在住・在勤・在学者で地域団体に所属している方または今後活動したい方

定 40人(先着順) 料 昼食弁当代1,000円

掲 9月1日号

令和5年度中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業を認定しました

中央区では、仕事と家庭の両立支援や男女ともに働きやすい職場づくりなどに取り組んでいる企業を認定する「中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業等認定事業」を実施しています。令和5年度は1社を認定しました。



東京証券信用組合

中央区日本橋茅場町1・5・8 東京証券会館3階

証券界のための信用組合が手掛ける「仕事と私生活の両立が可能な職場づくり」

証券会社および証券関連機関の総意により、証券界のための金融事業を主な目的として設立された同信用組合は70年弱の歴史をもつ組織です。日頃から「仕事と私生活の両立が可能な職場を目指す」というトップの方針を社員や管理職に向けて発信し、無駄な残業をしない風土が醸成されています。

トップの意向で年間10日以上の有給休暇を取得する目標を掲げています。従業員の休暇取得状況は管理職が把握し、取得が進んでいない場合は、総務人事部から取得を促しています。

育児・介護と仕事の両立については、2年前に女性従業員1名が育児休業を取得し、将来的に育児休業を取得する可能性のある男性従業員には情報提供に努めています。また、同組合の独自の取り組みであるライフサポート休暇制度は、業務外の傷病による入院や療養・通院、不妊治療など会社が認めた場合に、直近5年間で失効した年次有給休暇の積立合計日数の範囲内（最長30日、分単位で利用可）で有給休暇を取ることができるものです。すでに利用実績があり、従業員の安心材料となっています。



同組合は従業員がワンフロアで働いているため風通しもよく、なんでも言える職場環境となっていることから、従業員からの要望のうち、可能なことはすぐに対応しています。従業員との面談をきっかけに時差出勤を制度化した例もあり、組合が一丸となって積極的にワーク・ライフ・バランスを推進しています。

金融業・保険業

従業員数17名
女性10名
男性 7名

募集・お知らせ

ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでみませんか

区では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる、または取り組みたい中小企業などを支援しています。

●対象事業所 区内に事業所を置き、常時雇用する従業員の数が300人以下の企業など

●費用 無料

ワーク・ライフ・バランス推進企業を認定します

認定のメリット

- ・区の広報紙やホームページに企業等の紹介を掲載
- ・中央区商工業融資の融資利率優遇（別途審査あり）
- ・区発注契約における総合評価入札の加点や優先指名等の優遇

・名刺やホームページなどへの認定ロゴマークの使用

●応募締切 令和6年10月31日(木)必着

ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザーを派遣します

支援内容例

- ・仕事と子育て・介護との両立
- ・休暇の取得促進、時間外労働の削減
- ・男性従業員の育休取得促進 など

●応募締切 令和6年12月27日(金)必着

※応募方法など詳しくは区ホームページを参照→

ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定ロゴマークができました

認定企業は、名刺、ホームページ、採用活動時の資料などに認定ロゴマークを使用することができます。詳しくは区ホームページ参照 →



区ホームページでは、認定された企業29社を紹介しています



認定事業者紹介

中央区が認定しているワーク・ライフ・バランス推進企業は、現在 29 社あります。東京証券信用組合と同じ金融業の認定企業 3 社に、認定を受けて良かったことや社内外の変化などについてお聞きました。

日本証券金融株式会社（平成24年度認定）

所在地 中央区日本橋茅場町1-2-10
従業員数 254名（女性87名／男性167名）

特徴的な取り組み

- 育児短時間勤務制度の拡充（小学校6年生修了時まで）
- 男性の出産支援休暇の整備（3日間）
- 社員の提案による制度化（半日有休の取得回数の制限撤廃）
- ノー残業デーの実施
- 介護短時間勤務制度の拡充（回数制限なく利用開始から5年間）
- 嘱託短口勤務（週3日、週4日選択可）



育児休業制度により、育児を積極的に楽しむイクメン社員

金融業として最初に中央区ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定され、その後も人事部として毎年面談やアンケートなどで社員の声に耳を傾け、要望を伝えやすい雰囲気をつくり、段階を踏んで支援策を充実させてきました。テレワークなど「在宅勤務の推進」はコロナ禍以前より取り組んでいたため、緊急事態宣言の時もスムーズに進められました。男性の育児休業は一昨年、1名が利用したのを機に広がり、現在では子どもが誕生した男性社員全体に利用が拡大しています。育児短時間勤務制度を利用しながら子育てと仕事の両立に努める社員もいます。

育児や介護をしながら働き続けられるよう、社員とのコミュニケーションも大事にして制度を整えています。就活中の学生にも良いイメージを持たれていると感じています。

明和証券株式会社（平成27年度認定）

所在地 中央区八丁堀2-21-6
従業員数 83名（女性22名／男性61名）

特徴的な取り組み

- 産後8ヶ月育休及び育児休業の最初の5日間は有給
- 年次有給休暇の残余日数繰り延べ（最高40日）分
- 以外に、私傷病時においては失効分の有給休暇を復活

- 少人数部店での休暇取得促進のための支援体制整備
- 全社員対象アンケート実施



「働き方を変えよう」という社長の英断により、2009年から残業削減に着手しました。長時間勤務が常態化していた当時、金融業では最先端の取り組みで、定着には5～6年かかりました。人事部が管理職や社員と面談を重ね、各部署に「早帰り」を呼び掛けました。現在は、帰る時間を決め、逆算して仕事を効率的に進めることで午後6時頃には退社しています。育児休業については、女性を取得しますが、男性の取得はほとんどありませんでした。最近是有給にしたためか、男性も5日程度は休業するようになりました。

2015年度に、新卒採用の際のアピールになるという理由で認定制度に応募しましたが、第三者機関による認定なので説得力があります。要望していたロゴマークもでき、名刺やホームページに活用しています。

山和証券株式会社（平成30年度認定）

所在地 中央区日本橋兜町1-8
従業員数 129名（女性25名／男性104名）

特徴的な取り組み

- 社内アンケート実施による働き方の実態及びニーズ把握
- 小学校就学の始期に達するまでを対象とした育児短時間勤務制度（会社が認めた場合は小学3年生まで延長可能）
- 時差勤務制度（短時間勤務制度との併用可）



社内のワーク・ライフ・バランスを推進する皆さん

社内での意識が高まり、有給休暇取得率や残業時間が減るなど、数値的な変化が見られました。制度利用者は周囲の理解のもと、育児休業や時短制度が取得でき、仕事と家庭の両立が図られています。今年になって、初めて男性社員が育児休業を取得しました。また、社内の制度を見直して、総務部が制度の周知に向けた取り組みを進めています。

長時間労働の削減のため、業務量全体を見直して、マニュアルを整備し、仕事の棚卸しを行いました。午後7時前には帰宅することを推奨しており、ノー残業デーには上司が率先して帰宅して、見本となる姿勢を示しています。そのような取り組みが功を奏し、最近では女性の活躍が進み、指導職（いわゆる総合職、管理職候補）を選択する女性社員が増えています。

心のモヤモヤ 相談しませんか？ 「ブーケ21」SNS 相談を はじめました



毎週 月曜日～土曜日 午後7時～9時（年末年始除く）

相談員がチャットでお話を伺います。
話したことは、他の人には知られません。
相談の途中でやめても大丈夫です。
どなたでも、気軽にご相談ください。



相談の入口はこちら↑

生理用品を配布します

経済的な理由などで、生理用品を十分に入手できない女性を支援するため、区内の施設で生理用品を配布しています。

■配布場所

男女平等センター 「ブーケ21」1階受付	午前9時～ 午後8時
中央区役所 ふくしの総合相談窓口	午前8時30分～ 午後5時
子ども家庭支援センター 「きらら中央」勝どき分室	午前9時～ 午後6時
中央区保健所 健康推進課	午前8時30分～ 午後5時
日本橋保健センター	
月島保健センター	
晴海保健センター	

■配布方法

配布窓口に設置したカード、またはスマートフォンで下のイラストを画面表示し、窓口の職員に提示してください。身分証等の提示は必要ありません。

お一人様1パック（36個入）を紙袋に入れてお渡しします。



カード見本

「ブーケ21」女性相談をご利用ください

配偶者等や交際相手からの暴力（DV）をはじめ、仕事や家庭、生き方など、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします。一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

相談・予約電話番号 **03-5543-0653**（相談無料、秘密厳守）

電話相談（予約不要） 毎週月曜日 午前10時～午後4時（ただし祝日、年末年始を除く）

面談相談（予約制） 毎月 第1・5水曜日 第4火曜日 午前10時～午後4時
毎月 第2火曜日 第3水曜日 午後3時30分～8時30分
（ただし祝日・休日、年末年始を除く）＊託児付き（要予約）
上記以外の時間でも、男女平等センター開館時は予約を受け付けます。

男性電話相談をご利用ください

職場での人間関係や夫婦関係、配偶者や恋人からの暴力、生き方などさまざまな不安や悩みについて、専門の相談員がお話を伺い、解決の道を一緒に考えます。お気軽にお電話ください。

相談専用電話番号 **03-3495-7770**（相談無料、秘密厳守）

電話相談（予約不要） 毎月第1・3水曜日 午後3時～8時

「ブーケ21」へ来てみませんか？

「ブーケ21」は男女共同参画を推進し、一人一人が自分らしく生きることができる地域社会を目指す拠点施設です。女性、男性どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 中央区湊一丁目1番1号
電話番号 03-5543-0651

◆開館時間 午前9時～午後9時
（12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く）

●東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車
A2・B3出口 徒歩3分

●都バス「東15」（深川車庫前⇄東京駅八重洲口／豊洲駅前・明石町経由） 鉄砲洲下車 徒歩3分

●江戸バス「南循環」
鉄砲洲下車 徒歩3分
入船三丁目下車 徒歩3分
「北循環」
八丁堀駅下車 徒歩3分

